鱗（りん）河（が）

阿賀には、懐かしい風景と
新しいロマンがある

第３号
E-mail　aganokawa-26@ab.wakwak.com
発行　2009／6
阿賀漁協組合報

発行　阿賀野川漁業協同組合／事務所　阿賀町石間３８８１－４　☎0254－99－1031　FAX1035

◇念願、咲花頭首工魚道改良決まる！
◇鮭、有効利用「荒川漁協」を視察（先進地視察）
◇組合運営は如何に…地区代表者懇談会開催
◇組合員資格審査委員会設置、定款絶対記載事項に
◇第五十回通常総代会開催
組合長に村山賢二氏を再任
副組合長に藤田正明氏を選任

“そ～れ”鮭も園児も元気いっぱいだ！（五泉市太田川／ＡＢＣ幼稚園／09.3.16）

第50回　通常総代会

平成二十年度収支決算総額二千二百四万三千円を承認。若干の黒字を計上（二十八万八千円）

【概　要】【六月二十一日五泉市福祉会館】

◆黒字の要因としては、事務職員一名の雇用条件変更と理事会開催数を定例会方式をとり、全体の人件費を圧縮。

更に管理費全般の削減から、約二百万円を削減できたことが大きな要因となった。

しかし、経費の圧縮もそろそろ限界値に来ている。又、組合員の減少にも歯止めが掛からず毎年二十数名が減っている。これらへの対応として、新たな財源となる事業に取り組むことが急務である。

二十一年度予算二千二百万円の使い道

【収　入】（単位：円）

＊賦課金（7,595,000／組合費 1,085 人）
＊特別賦課金（3,934,000／サケ鱒漁許可申請）
＊受入入漁料（5,000,000／各種遊漁証売上げ）
＊受入行使料（ 144,000／やな・釣堀申請料）
＊受入手数料（ 254,000／手数料・他）
＊受入補助金（ 570,000／各種対策費・他）
＊指導事業雑収益（4,500,000／補償金・協力金等）
＊その他（ 118,000／預金利子・雑収益他）

【支　出】

＊繁殖保護費（5,335,000／各種放流・対策費）
＊人件費（5,917,000／給与・報酬・福利）
＊旅費交通費（1,394,000／役員会・委員会・研修・増殖・他）
＊事務費（1,360,000／通信・消耗品・図書・印刷・事務費）
＊業務費（ 993,000／接待・広報・連絡員手当・他）
＊支払賦課金（ 600,000／関係団体出資金）
＊増殖経費（2,950,000／ふ化場利用負担金）
＊施設費（ 365,000／施設管理・修繕・光熱水費・他）
＊増殖補助金（ 166,000／ウライ施設補助金）
＊その他（3,035,000／事業外損失・委託費・各引当・予備費）

ここがポイント

◇収入では賦課金の自然減が 13 万円と受入補助金の 20 万円減が主な理由で、前年比 85 万円の減額となった。

◆支出では、役員報酬と職員給与で 97 万円の減となったが、事務費で若干の増額となった。

役員報酬と費用弁償の減額については、昨年の総代会で承認を得ていたものを今年度これを予算化したものです。（役員報酬一律１万円の減／費用弁償一回千円減）他に職員賞与の 0.4 月カット、会議費を約５％減額した。

？〔主な質疑〕？

Q　今回の春マス監視で、網の統数違反が見られたが、許可申請の内容はどうなっている…

A　サケと秋鱒の許可には、網の長さ75m以内、一ヵ統で細分化は認めないとなっている。

春鱒の許可証には長さ制限はあるが、統数制限は明記されていない。このことから制限がないと過大解釈したのではないか。しかし県に、春鱒の許可申請を行う際、申込者数で申請していることから、許可証に網数を明記しなくとも自動的に一人一ヵ統が許可数となる。したがって許可条件に複数を認めておりません。

◆近年において地区によって河川条件の相違から許可条件の解釈が区々な面もありますので、上・中・下流域の代表者による専門協議会を開催し、漁場条件などの確認から、その漁場にあったルールづくりが必要と考えております。

（組合長答弁）

【新役員及び構成】

組合長　村山賢二／下条
副組合長　藤田正明／横越
管理委員会◎権瓶文吉／小松
○大江喜久男／鹿瀬
加藤時雄／馬下
佐久間勇夫／谷花
村山賢二
障害委員会◎松尾　博／川内
○芳賀数也／中川新
渡辺政廣／安田
井上　茂／安田
村山賢二
増殖委員会◎風間正栄／新関
○清野廣一／三川
斉藤弥十吉／巣本
藤田正明
村山賢二
鮭鱒増殖委員
村山賢二
藤田正明
権瓶文吉
松尾　博
風間正栄
監　事◎星　義孝／下条
渡辺正也／安田